

## 平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年7月11日

上場取引所 東

上場会社名 北雄ラッキー株式会社  
 コード番号 2747 URL <http://www.hokuyu-lucky.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 川端 敏  
 (氏名) 桐生 宇優

TEL 011-558-7000

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年2月期第1四半期の業績(平成26年3月1日～平成26年5月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	10,414	△1.2	△114	—	△128	—	△117	—
26年2月期第1四半期	10,540	△0.7	29	△35.6	11	△40.4	3	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	△18.59	—
26年2月期第1四半期	0.50	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第1四半期	19,585	4,251	21.7	672.43
26年2月期	18,680	4,425	23.7	700.04

(参考) 自己資本 27年2月期第1四半期 4,251百万円 26年2月期 4,425百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年2月期の業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,470	△0.5	10	△95.3	△23	△113.2	△59	△162.7	△9.33
通期	43,800	1.9	368	△22.6	430	△0.4	230	10.1	36.38

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年2月期1Q	6,323,201 株	26年2月期	6,323,201 株
27年2月期1Q	979 株	26年2月期	979 株
27年2月期1Q	6,322,222 株	26年2月期1Q	6,323,201 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しており、四半期レビュー報告書を本日付で受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	7
第1四半期累計期間 .....	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(平成26年3月1日～平成26年5月31日)におけるわが国経済は、企業収益の改善や設備投資の増加などにより、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、個人消費では、消費税率引上げに伴う駆け込み需要及びその反動により「想定範囲内」と評価されておりますが、弱い動きもみられるなど、海外景気の下振れ懸念等も含めて、先行きは不透明な状況が続いております。

スーパーマーケット業界におきましては、少子高齢化の進行にともなう市場の縮小と企業の淘汰・再編が加速する厳しい経営環境が続くものと思われませんが、一方では景気の持ち直しにともない上質化商品がヒットするなど、お客様の求める品質や価値を追求すること及びニーズに対応することで、新たな販売チャンスの拡大と捉えることができます。

このような状況のなか、当社におきましては、「おいしいものを食べたい、豊かな食生活を楽しみたい」というお客様の期待にお応えするべく、「食生活提案型スーパーマーケット」の構築を目指してまいりました。そのために、「おいしさ」の追求と「品質」「鮮度」の徹底、また地域の需要に対応した品揃えの実現に努めてまいりました。そして、急速に進む少子高齢化の対応として、簡便・即食・個食といった需要の取り込み、更に料理の楽しさや日本の伝統的な食文化継承のための提案をすることを課題として取組んでまいりました。

当第1四半期累計期間におきましては、消費税率引上げに伴う駆け込み需要に加えて倶知安店開店の協賛セールなどにより、3月の業績は既存店売上高が前年同期比108.8%となるなど大きく伸長いたしました。しかし、4月以降においては、駆け込み需要の反動による消費落ち込みの回復が遅れることなどにより、既存店売上高は前年同期比99.6%、また、山の手店の改装休業もあり、売上高は前年同四半期と比較し減少となりました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高104億14百万円(前年同期比98.8%)、経常損失1億28百万円(前年同期は経常利益11百万円)、四半期純損失1億17百万円(同四半期純利益3百万円)となりました。

なお、当社の旗艦店舗であります山の手店の改装休業などにより四半期純損失となっておりますが、業績は概ね計画通りに進行しております。

当第1四半期累計期間における主要な設備の状況につきましては、平成26年3月7日に虻田郡倶知安町に倶知安店(食料品・衣料品共同店)を新規開店し、改装としては、山の手店が同年3月4日より店舗建替工事のため一時閉店しております(同年7月中旬新装開店の予定)。

平成26年5月31日現在の店舗数は、35店舗であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第 1 四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比較し 9 億 5 百万円増加し 195 億 85 百万円となりました。

その主な要因は、流動資産において現金及び預金の増加が 5 億 7 百万円、固定資産においてリース資産の増加が 1 億 54 百万円、建設仮勘定の増加が 1 億 52 百万円であったことなどによるものであります。

(負債)

当第 1 四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比較し 10 億 80 百万円増加し 153 億 34 百万円となりました。

その主な要因は、流動負債において短期借入金が 13 億 81 百万円減少したものの、支払手形及び買掛金の増加が 8 億 97 百万円、長期借入金の増加が流動負債及び固定負債で合わせて 11 億 73 百万円、リース債務の増加が流動負債及び固定負債で合わせて 1 億 66 百万円であったことなどによるものであります。

(純資産)

当第 1 四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末と比較し 1 億 74 百万円減少し 42 億 51 百万円となりました。

その要因は、その他有価証券評価差額金が 6 百万円増加したものの、株主配当による減少 63 百万円及び四半期純損失 1 億 17 百万円の計上によって利益剰余金が 1 億 80 百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第 1 四半期業績につきましては、記載のとおり厳しい結果とはなりましたが、今後とも販売促進の強化、人的効率のアップ、徹底したコストの削減を継続し、売上と利益の確保に努めてまいります。

なお、当社の業績予想につきましては、現時点において平成 26 年 4 月 11 日決算短信にて公表いたしました数値から変更はありません。今後、変更がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成26年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,428,757	1,936,549
受取手形及び売掛金	295,463	337,426
商品及び製品	1,749,742	1,799,161
原材料及び貯蔵品	108,107	92,927
前払費用	128,488	122,826
繰延税金資産	77,392	103,412
未収入金	399,163	297,892
その他	36,765	21,211
貸倒引当金	△540	△540
流動資産合計	4,223,340	4,710,866
固定資産		
有形固定資産		
建物	9,094,283	9,119,423
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,703,356	△5,762,304
建物(純額)	3,390,927	3,357,119
構築物	556,665	554,965
減価償却累計額及び減損損失累計額	△449,974	△452,931
構築物(純額)	106,690	102,033
機械及び装置	610	610
減価償却累計額及び減損損失累計額	△122	△146
機械及び装置(純額)	488	463
車両運搬具	3,332	3,332
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,193	△3,210
車両運搬具(純額)	138	121
工具、器具及び備品	386,875	409,816
減価償却累計額及び減損損失累計額	△340,681	△346,674
工具、器具及び備品(純額)	46,194	63,141
土地	7,214,054	7,214,054
リース資産	1,304,924	1,468,295
減価償却累計額及び減損損失累計額	△744,358	△753,508
リース資産(純額)	560,565	714,786
建設仮勘定	6,595	159,529
有形固定資産合計	11,325,654	11,611,250
無形固定資産		
ソフトウェア	10,267	11,687
電話加入権	18,228	18,228
無形固定資産合計	28,496	29,916
投資その他の資産		
投資有価証券	205,446	213,971
出資金	489	589
長期前払費用	41,240	112,619
繰延税金資産	484,639	480,909
差入保証金	2,279,041	2,334,571
保険積立金	63,882	65,003
投資その他の資産合計	3,074,740	3,207,664
固定資産合計	14,428,891	14,848,831

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成26年5月31日)
<b>繰延資産</b>		
社債発行費	27,779	26,029
繰延資産合計	27,779	26,029
資産合計	18,680,011	19,585,728
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	2,729,527	3,627,302
1年内償還予定の社債	260,000	260,000
短期借入金	3,331,613	1,950,000
1年内返済予定の長期借入金	907,486	1,230,530
リース債務	237,145	270,784
未払金	305,325	375,776
未払費用	267,320	337,634
未払法人税等	86,626	9,723
未払消費税等	40,220	87,991
前受金	17,210	17,867
預り金	36,580	55,656
賞与引当金	119,355	233,343
流動負債合計	8,338,411	8,456,610
<b>固定負債</b>		
社債	1,480,000	1,450,000
長期借入金	2,509,711	3,360,479
リース債務	381,203	514,236
退職給付引当金	913,593	922,272
役員退職慰労引当金	239,626	241,913
長期預り保証金	343,723	340,575
資産除去債務	45,926	46,098
その他	2,001	2,278
固定負債合計	5,915,785	6,877,853
負債合計	14,254,196	15,334,464

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成26年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	641,808	641,808
資本剰余金		
資本準備金	161,000	161,000
その他資本剰余金	190,215	190,215
資本剰余金合計	351,215	351,215
利益剰余金		
その他利益剰余金		
別途積立金	2,465,000	2,465,000
繰越利益剰余金	941,500	760,726
利益剰余金合計	3,406,500	3,225,726
自己株式	△467	△467
株主資本合計	4,399,056	4,218,282
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	26,758	32,981
評価・換算差額等合計	26,758	32,981
純資産合計	4,425,814	4,251,264
負債純資産合計	18,680,011	19,585,728

## (2) 四半期損益計算書

(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	10,540,675	10,414,802
売上原価	7,956,900	7,836,386
売上総利益	2,583,774	2,578,415
営業収入		
不動産賃貸収入	71,482	70,743
運送収入	189,189	185,808
営業収入合計	260,672	256,551
営業総利益	2,844,446	2,834,967
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	123,847	142,007
配送費	164,045	165,505
販売手数料	173,790	174,291
給料及び手当	491,416	498,367
賞与引当金繰入額	109,761	113,988
退職給付費用	29,058	32,879
役員退職慰労引当金繰入額	2,478	2,287
雑給	609,783	628,313
水道光熱費	199,475	210,999
減価償却費	129,934	132,360
地代家賃	237,070	253,008
その他	544,291	595,942
販売費及び一般管理費合計	2,814,955	2,949,952
営業利益又は営業損失(△)	29,491	△114,985
営業外収益		
受取利息	3,228	3,078
受取配当金	3,644	3,667
債務勘定整理益	226	384
受取補償金	11,690	—
雑収入	11,434	11,831
営業外収益合計	30,224	18,961
営業外費用		
支払利息	36,230	30,442
社債発行費償却	1,749	1,749
雑損失	9,743	460
営業外費用合計	47,723	32,653
経常利益又は経常損失(△)	11,992	△128,676
特別損失		
減損損失	1,562	9,264
固定資産除売却損	700	905
特別損失合計	2,263	10,169
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	9,729	△138,846
法人税、住民税及び事業税	31,025	3,296
法人税等調整額	△24,465	△24,591
法人税等合計	6,559	△21,294
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,169	△117,551

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。